

1. 開催概要

展覧会名	オランジュリー美術館コレクション ルノワールとパリに恋した 12 人の画家たち	
開催施設名	会期	入場者数
横浜美術館	2019 年 9 月 21 日～2020 年 1 月 13 日	223,878 人 (内覧会等を含む)
●開催概要 本展は、横浜美術館が開館 30 周年を迎えるのを機に、フランス・パリに位置するオランジュリー美術館の所蔵する世界屈指の印象派とエコール・ド・パリのコレクションを、21 年ぶりにまとまって紹介するものである。オランジュリー美術館に所蔵される全 146 点の中から日本でも高い人気を誇るルノワールをはじめ、ピカソ、マティス、モネ、ローランサンら 13 作家 69 点の作品を紹介した。また、同館のコレクションを築いた画商ポール・ギヨームと彼の妻ドメニカの紹介を通じ、コレクションの形成されてきた過程や辿ってきたストーリーにも光をあてる構成とした。傑作ぞろいの本展は、「時空旅人別冊 大人が観たい印象派」(プラネットライツ)、「美術の窓 9 月号」(生活の友社)などで大きく特集されたほか、数多くのメディアから注目を集めた。一般の来場者からも「あのオランジュリー美術館の名品を一挙に見られる贅沢な機会だった」「新しい作家との出会いがあり、美術に更に興味がわいた」などの声があがった。		

2. 美術品補償制度の活用による国民的利益に関する取組結果

※申請時に見込んだ軽減額約 2500 万円を別紙のとおり還元した(別紙参照)。

3. 事故の有無(軽微な事故、ヒヤリハット事例も含む)

なし

4. 安全配慮に関する特別の対応

- ・往復の輸送便にはオランジュリー美術館のクーリエが随行し、作品の安全に細心の注意を払った。
- ・オランジュリー美術館での梱包時、横浜美術館での開梱・再梱包時、およびオランジュリー美術館に返却された際の開梱時の各段階でコンディション・チェックを行い、オランジュリー美術館のクーリエが調書へ記入・署名を行った。
- ・作品輸送時や展示・撤去時には必ず主催者スタッフが立ち会った。

5. 紹介事例・今後の改善点等

本制度の適用によって、オランジュリー美術館が誇る世界有数の印象派・ポスト印象派のコレクションから選りすぐりの69点を一挙に公開できたことは、「広く国民にすぐれた美術品鑑賞の機会を提供する」と本制度の趣旨に合致する。同館のコレクションは全点でも146点と数が少なくその多くが常設展示されていることから、まとまった国外への貸し出しは難しいという中、同館の改修工事という機会を活用してコレクションを一挙に日本で紹介できたことは意義深く、特に若年層にとっては大切な機会であったと考える。

6. 展覧会の収支決算書

主催者名

横浜美術館、読売新聞社

●収入

区分	内 記	決算額(万円)
展覧会収入	展覧会収入・その他収入	31,240
	主催者負担	9,622
	収入総額	40,862

●支出

区分	内 記	決算額(万円)
企画準備等基本経費	企画準備等基本経費	30,358
	設営・運営等会場関係費	10,504
	支出総額	40,862

【別紙12. 美術品補償制度の活用による国民的利便に関する取組結果】

	申請時の概算経費	申請時金額	実施内容	実費
(1)入場料の無料化・軽減等	若年層への展覧機会を拡大するため、会期中に高校生・中学生を500名ずつ招待することとした。10月～11月の土日を対象に、希望者は事前に希望日程へ申し込みを行い、招待券を受け取る形とした。 高校生招待にかかる経費 1200円×1500人＝180万円 中学生招待にかかる経費 700円×1500人＝105万円 発送費・名簿管理・発送作業費等 計100万円 宣伝費 150万円 合計 535万円	¥5,350,000	若年層への展覧機会を拡大するため、会期中に高校生・中学生を500名ずつ招待することとした。10月～11月の土日を対象に、希望者は事前に希望日程へ申し込みを行い、招待券を受け取る形とした。また、その後も招待料に余裕があったことから、追加で11月1日～4日、12月21日～25日について、中学生は無料入場可能な日に設定した。追加日程の告知のため、新聞広告等で追加の宣伝も行った。 無料招待者総数 高校生 530人×1200円＝645,600円 中学生 353人×700円＝247,100円 発送費・名簿管理・発送作業費等 547,300円 宣伝費（新聞広告での掲載、プレスリリースの発信等） 330万円	¥4,740,000
(2)展示作品の質・量の充実	本制度の利用によって、オンライン美術館からドラゴン・ポール・ギョームの肖像（複製）ほか、同館所蔵のコレクションを紹介するにあたり重要な油彩画7作品の追加借用が実現した。 油彩画の7作品は全89作品のうち10.1%を占めており、その借用料ほか作品関係費は、9300万円×10.1%＝939万円 これら7作品の経費計4,580万ユーロは全体の経費額の8.64%を占めており、 クレート代・8310ユーロ＝109万円 輸送費・航空貨物運賃 1398kg×（往路@6.05ユーロ＋復路@1310円）＝293万円 ※1ユーロ＝131円で計算 合計1408万円	¥14,080,000	本制度の利用によって、オンライン美術館からドラゴン・ポール・ギョームの肖像（複製）ほか、同館所蔵のコレクションを紹介するにあたり重要な、以下の油彩画7作品の追加借用が実現した。 ・シスレー（モン・ヴァンソンからル・ヴァンソンへの道） ・ル・ノワール（手紙を持つ女） ・ル・ノワール（バラをさしたプロパンドの女） ・ル・ノワール（裸婦） ・ヴァン・ドン・ヴァン（ポール・ギョームの肖像） ・ドラゴン・ポール・ギョームの肖像 ・ドラゴン（大きな椅子を渡るポール・ギョーム夫人の肖像） 油彩画の7作品は全89作品のうち10.1%を占めており、その借用料ほか作品関係費は、9300万円×10.1%＝939万円 これら7作品の経費計4,580万ユーロは全体の経費額の8.64%を占めており、 クレート代・8310ユーロ＝109万円 輸送費・航空貨物運賃 1398kg×（往路@6.05ユーロ＋復路@1310円）＝293万円 ※1ユーロ＝131円で計算 合計1408万円	¥14,080,000
(3)教育普及活動の充実	オンライン美術館の本展監修者やフランス文学者による講演会と、美術館ホールで開催する芸術イベントを企画した。また、主に小中学生を対象とした、初心者向け鑑賞ガイドを製作し、来場者に配布するほか、希望のあった横浜市内の学校などに配布することとした。 ＜オンライン美術館監修者・国内有識者他による講演会（3回）＞ ・監修者宿泊費・日当、講師謝礼＝30万円 ・通訳費 7.5万円 ・臨時スタッフ経費 15万円 ・会場・事務経費 18.5万円 合計 71万円 ＜芸術イベント（3回）＞ ・出演者謝礼 30万円 ・臨時スタッフ経費 15万円 ・会場経費・経費 27万円 計 72万円 ＜初心者向け鑑賞ガイド＞ ・用紙・印刷費 72万5千1部25円＝175万円 ・デザイン・編集・制作費、キャラクター・イラストなど 150万円 ・各学校や教育機関への発送費・発送作業人件費 50万円 ・一冊法、各学校への運搬作業人件費＝30万円 ・広報宣伝費 100万円 合計 425万円	¥5,570,000	オンライン美術館の本展監修者やフランス文学者による講演会と、美術館ホールで開催する芸術イベントを企画した。また、主に小中学生を対象とした、初心者向け鑑賞ガイドを製作し、来場者に配布するほか、希望のあった横浜市内の学校などに配布することとした。 ＜オンライン美術館監修者・国内有識者他による講演会（3回）＞ ・監修者宿泊費・日当、講師謝礼＝30万円 ・通訳費 7.5万円 ・臨時スタッフ経費 15万円 ・会場・事務経費 18.5万円 合計 71万円 ＜芸術イベント（3回）＞ ・出演者謝礼 30万円 ・臨時スタッフ経費 15万円 ・会場経費・経費 27万円 計 72万円 ＜初心者向け鑑賞ガイド＞ ・用紙・印刷費 72万5千1部25円＝175万円 ・デザイン・編集・制作費、キャラクター・イラストなど 150万円 ・各学校や教育機関への発送費・発送作業人件費 50万円 ・一冊法、各学校への運搬作業人件費＝30万円 ・広報宣伝費 100万円 合計 425万円	¥5,180,000
合計		¥25,000,000		¥25,000,000